



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

筋委縮性側索硬化症、パーキンソン病、統合失調症と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

疾患別情報統合データベース研究（GAPFREE4）を基盤とした神経変性および精神疾患のバイオマーカー開発研究

【研究責任者】

服部功太郎（国立精神・神経医療研究センター バイオリソース部）

【本研究の目的及び意義】

この研究では、小野薬品工業株式会社と共同で、神経変性疾患や精神疾患の脳脊髄液（CSF）や血液中の分子バイオマーカーを探索します。バイオマーカーは病気の原因に関わっていたり、進行や治療効果を反映したりする目印となるものです。特に、CSF中に分泌される膜成分に注目しており、別研究GAPFREE4*研究で得られた詳細な分子解析データベースと合わせて解析します。これにより、病気の早期発見や新しい治療法の開発を目指しています。

* GAPFREE4の詳細は下記URLをご参照ください。

https://biobank.ncnp.go.jp/images/achievements/achievements_N1TwzBkPwKSVA9pD_1.pdf

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液

GAPFREE4研究で使用した統合失調症や変性疾患の性、年齢、診断、重症度評価、治療内容、脳脊髄液・血液のタンパク質やアミノ酸などの網羅的解析情報

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2027年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

小野薬品工業（株）

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)